

今回の瓦版は、会員以外の世帯にも  
配布させていただいています！

\* 瓦版は、3月25日・7月25日・11月25日の年3回の発行です。

\* 本瓦版(pdfファイル)は、携帯端末で「富田林寺内町の探訪」からダウンロードすることもできます。

第68号 発行・編集：富田林寺内町をまもり・そだてる会／じないまち交流館 富田林市富田林町9-29(じないまち交流館) 平成29年11月25日 (1)



# じないまち瓦版 / 68号

題字 / 十石 千晶さん(南会所町)

**寺内町、食べあそび(4)**  
「おいしい店の紹介」  
今回は「平蔵」さんを訪問しました。

**(4)平蔵**  
このお店は北会所町にあります。交流館のある富田林町の本南側になります。  
お店がオープンする前に表を通りかかっていたことがあり、「平蔵」という言葉から連想したのは「鬼平こと長谷川平蔵」と「焼酎の銘柄の平蔵」、「宮崎県櫻乃峰酒造の芋焼酎」でした。鬼平からは鬼平犯科帖に出てくる「シヤモ鍋のお店」を思い出して、それと焼酎の平蔵が重なると居酒屋かなと思っていました。お店が開店されて買物帰りに通行すると、お店の中からコーヒーの匂いが漂ってきいてびっくりしたことを思い出しました。  
お店の定休日は火曜日と水曜日です。営業時間帯は午前10時から午後6時です。電話番号は「090-3461-91501」です。開店日は2013年1月20日です。来年の一月で満5周年を迎えられることになりました。マスターは平山聡さんとおっしゃいます。  
寺内町を選ばれた理由は、「蔵のような店舗」を探していたところに、この町のもっている「雰囲気」、「蔵」、「人」との出会いで決められたそうです。  
お店は佐藤家の「蔵」を改装して作られました。マスターは大変「蔵」が好きで「蔵」の中でお店を作るのが夢でその夢を実現され、ご夫婦でお店を運営されています。  
お店の名前「平蔵」はマスターの苗字の「平」と大好きな「蔵」と合体させて作られました。  
お店のメニューは、喫茶では各種コーヒー(¥380)、コーヒードリンクでは各種コーヒードリンク(生豆200g)¥1,000前後です。お店一押しメニューは本日のストレート珈琲

だそうなんです。珈琲豆へのこだわりについて質問すると、世界各国の農園より厳選したスペシャルティコーヒー豆を揃えていることに加えて、豆の状態や毎日の気象状況によって、焙煎具合も変え、新鮮でおいしいコーヒーを提供することですという答えが返ってきました。  
また、おいしいコーヒーを作るコツは、コーヒード豆の状態を見て、「お湯の温度」「挽き方」「お湯をいれるスピード」を調整しつつ、一杯一杯ハンドドリッパーで入れること、というんです。来店されたお客様には「エン店と違う」「味」と「香り」を楽しんでほしいとのことでした。  
お店自慢の本日のストレート珈琲(モカGI)を頂きました。  
コーヒード豆の味は、立ちこめる香りや舌の感覚だけでなく、温度やカップとの相性など、たくさん要素が重なって生まれます。  
味を表現する種類には「甘味」「酸味」「塩味」「苦味」「うま味」があります。コーヒード豆の場合は「苦味」と「酸味」のバランスで表すことがあるようです。  
本日のストレート珈琲(モカGI)については、  
①香り  
・お湯を注ぐ前のコーヒード粉は、特有の非常にこぼれやすい香りがしました。  
・抽出したコーヒードからは、甘い香りが立ちこめました。  
②お湯の温度と注ぐスピード  
・「90度」程度のお湯を一杯に対して2分30秒ほどで注がれました。  
③味わい  
・コーヒードを口に含んだ瞬間、「苦味」と「酸味」を同時に感じました。  
③コーヒードカップ  
・置き方はイギリス式です。  
・カップは磁器製です(コーヒードの味にこぼれないため)。  
今日は、チェーン店と違う「味」と「香り」を十分に堪能させて頂きました。  
また、美味しいコーヒードを飲みやすい時間を過ごさせて頂いたことに感謝いたします。  
(広報部会)



お店の入口

店主の平山さん



お湯を注ぐ前



お湯を注いでいる途中



カップの位置



店内

**2018年以降の「きり絵カレンダー」のサイズは、アンケートの結果、従来通りとすることに決定しました！**  
例年12月に配布しています近藤好先生制作の「寺内町きり絵カレンダー」のサイズについて、本年8/11~9/30の間、A案(従来)、B案(中間)、C案(最小)の3種類のサイズの実物サンプルを交流館に設置して、会員の皆様からアンケートを取りました。その結果、A:31人、B:14人、C:4人となり、A案(従来サイズ)とすることに決定しました。  
なお回答率は、20.2%でした。  
(広報部会 中井隆洋)

**9月9日(土)に「富田林寺内町の歴史講座と町並みツアー」を開催しました！**  
今年も昨年同様、じないまち交流館の協力を得て実施。当日は高松市、吹田市、大阪市等から17名の参加者があり、盛況のうちに開催しました。今年も引き続き、市教育委員会と協力を得て実施。当日は高松市、吹田市、大阪市等から17名の参加者があり、盛況のうちに開催しました。今年も引き続き、市教育委員会と協力を得て実施。当日は高松市、吹田市、大阪市等から17名の参加者があり、盛況のうちに開催しました。  
(じないまち交流館)

## 「寺内町四季物語2017夏 第14回寺内町燈路」報告

今年の寺内町燈路(主催：じないまち四季物語実行委員会、共催：当会、観光協会)は8月26日(土)に実施されました。秋雨前線の影響か、未明にこめか雨が降りましたが、午前9時頃には雨も上がり、残暑にも関わらず曇りが広がって多少涼しく感じられる気候となりました。  
夕方になると寺内町燈路見物の沢山の来場者がお越しになり、午後6時半頃には、寺内町とその周辺に約1000基の行灯が並べられ、一斉にローソクに灯が入られると、美しい町並みが映し出されました。  
会場内では、浴衣姿の人達や外国から来られた観光客が写真やビデオにその美しい風景を写しておられました。また、寺内町の各所ではさまざまなイベントが行われ、浄谷寺での「中国伝統楽器の演奏」、中林寝装店横の駐車場で「富田林今昔スライドの上映」、本町公園での「花行灯を飾り三味線、尺八の演奏」、みんなの広場での「子供縁日」等が行われ、多くの来場者で賑わいました。当日の参加者は5,500人(四季物語実行委員会発表)でした。  
皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。  
(事業部会、広報部会)

## 「第8回 寺内町月見の会」報告

暑さが和らぐ秋はお月見の季節です。今年も昨年同様、会員相互の親睦行事として「寺内町月見の会」が10月4日(水)に展望広場にて開催されました。特に今年10月4日は「中秋の名月」にあたり、昔から月見をするのに最もよいとされてきた日です。また、今年キモノ散歩実行委員会によるお月見の飾りや抹茶を一服する催しもありました。  
ここ数年は、曇がちの空が多く、開催中にお月さんが見えるか気をもむことが多かったのですが、今年は、展望広場のあたり一面が薄暗くなった頃、東の空から山吹色をした大きなお月さんが明るく上がってきました。  
お月さんの上でうさぎがピョンピョン飛び跳ねる様子が孫娘のしているトランポリンと重なって見えたように思えました。昔はお月さんの上でうさぎがお餅をついていると言われ、どんなお餅がワクワクしたのですが、孫娘と同じ話しをしてもスマホをさすりながらフーンと言っただけでした。  
たくさんの方が参加され、用意されていた月見団子は子供達や保護者の方達でおいしく頂き、盛況の内に月見の会を終えることが出来ました。  
皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。  
(事業部会、広報部会 田中新之助)



今回の瓦版は、会員以外の世帯にも  
配布させていただいています！

\*瓦版は、3月25日・7月25日・11月25日の年3回の発行です。

\*本瓦版(pdfファイル)は、携帯端末で「富田林寺内町の探訪」からダウンロードすることもできます。

富田林寺内町 来訪者 歓迎キャンペーン

こんにちは! 笑顔であいさつ 歓迎を

寺内町、食へる記(5)  
=おいしい店の紹介

今回はナロードさんを訪問しました。

(5)ナロード  
このお店は一里山町の最も西側にあります。お店の入り口は甲子園を思わせる様な「蔦」で覆われています。

お店が開店されたのは1972年11月5日で、寺内町のお店の中では最初に出来たと思っ

ています。朝日新聞に時々掲載されている記事に「わがまちの繁盛店」があり、その記事にこのお店も登場しました。富田林では当店以外に「明室」「TAKES」

「葉」「GALLERY」が掲載されました。お店の定休日は、月曜日です。営業時間帯は、午前11時〜午後10時です。

お店の電話番号は、0721(25)2469です。マスターは武田京(みさと)さんとおっしゃいます。次女の宜子さんと二人で切り盛りされています。

武田さんがこの場所を選ばれた理由は「町の雰囲気」が非常に良いと言っているようです。料理は主として宜子さんが作られて、マスターはお客さんとお話をする事がお仕事の様です。

料理人として大切にしていることについて、季節料理喜川店主の上野修三さんは「食材を無駄なく使いきる」と、例えば「タイ」の場合「内蔵」も「骨」も「皮」も無駄なく使うことだ

とおっしゃっています。同じ質問をマスターにしましたが、人はそれぞれ考え方が違うので是

と行った答えはないといなされ

メニューは50種類ほどあるようですので代表的なものとその値段を以下に記載します。

- ・トアルコトラジャコーヒー ¥400
- ・ワイン ¥450
- ・ピザ ¥600
- ・ボルシチ ¥780

色々ありますが、お客様に一番評判の良い一品は「ボルシチ」だそう。作り方のコツは企業秘密という

ことで教えて頂けませんでしたが、私の想像では長時間食材を煮込むことと出来上がった時

にける自家製のクリームで「香り」や「コク」がでるので

と思います。今回は定番の「ボルシチ」(値段:前記)と「パン」(¥200)、食後に「トアルコトラジャ

「ヤコーヒー」(値段:前記)をクラシック音楽を聴きながら頂きました。「ボルシチ」はビーツ(西洋

洋赤カブ)で色づいた赤いスープにジャガイモ、人参、豚肉がごろごろとはいって、気持ち

ちが和むやさしい味わいで



お店の入り口



武田京(みさと)さんと宜子さん



トアルコトラジャコーヒー (¥450)



ボルシチ (¥780)

まもり・そだてる会活動報告

月	日	会議名	内容
7	20	企画部会	・企画部会年間事業計画の確認
	23	事業部会	・寺内町燈路のお知らせ、半紙等の配布希望調査の件
8	3	役員会	・きり絵カレンダーサイズのアンケート実施の件
			・寺内町燈路実施に当たっての詳細確認
			・H29年度新部会構成と構成員の件
	10	理事会	・きり絵カレンダーサイズのアンケート実施の件 ・寺内町燈路詳細確認・月見の会実施の件 ・連絡協議会準備状況、議案書・来年度の部会構成案
27	事業部会	・8/26第14回寺内町燈路の反省・月見の会実施の件	
9	14	役員会	・寺内町燈路の総括・月見の会実施の件
			・寺内町連絡協議会の準備状況/議案書案紹介等
	23	企画部会	・御坊町/堺町の伝統的建造物の見学会
28	企画部会	・今後の方針検討(若者が参加できる企画の提案等)	
10	12	役員会	・きり絵カレンダーサイズアンケート結果報告
			・H30年度の部会構成の件 ・連絡協議会結成総会議案書案等・月見の会総括
11	2	役員会	・会員見学会の今後・第10回初鍋めぐりスタッフ案
			・連絡協議会総会議案書(当会からの代議員案等) ・大型バスによる来訪者乗降場所の件
	7	研修部会	・10/29中止の見学会に関し、今期中の実施案を作成

☆ 交流館だより ☆

◎ギャラリー展示予定

- 十月一日〜十月十七日 松田全弘 写真展示
- 十月十九日〜十月十六日 富田林幼稚園 皿・茶碗・絵画等の作品展
- 十一月十七日〜十一月二十一日 角柿輝美 吊るし雛・ちりめん細工
- 十一月一日〜十一月十五日 ボタニカルアート サフラン 植物画展示
- 十一月十六日〜十一月十八日 土筆の会 書道・生花展
- 十一月一日〜十一月五日 じないまち交流館 お雛さま展示
- 十一月十六日〜十一月二十一日 なこみ 書道作品展

じないまち交流館自主事業  
2017年冬ワークショップ  
「羊毛フェルトで  
クリスマスツリーを作ろう」



針も糸も使わずに作ります。

日時：11月21日(木)〜12月24日(日)  
10時〜15時30分  
(交流館休館日以外)

場所：じないまち交流館

参加費：100円

所要時間：30分〜60分

編集雑感

昭和四十五年(1970年)に大阪万博が吹田の千里丘陵で約半年間開催されました。大阪万博はアジア初の国際博覧会で、総入場者数六四〇〇万人と入場見込みの二倍以上あり、参加国は七十七カ国でした。アメリカのアポロ計画により月から持ち帰った「月の石」、岡本太郎さんの「太陽の塔」など話題がたくさんありました。

三重県伊勢での夏の弓道部合宿の帰り、先輩、同僚、後輩が万博見学の為、我が家に泊まった事がありました。

富田林寺内町には、古い江戸時代の町並みが多々残っています。しかし、五右衛門風呂や「へつついさん」等、昔の生活道具を見ることが出来ないのが残念です。(旧杉山家住宅には、「へつついさん」があります。)

数年前、九州の小倉城を見学した時、江戸時代の庶民が使っていた桶等の生活道具がいろいろ展示してありました。又、正月に殿様がどういう料理を食べていたかというメニューや殿様の朝昼夜の行動パターンも説明してあり、面白かったです。

広報部会

- (一里山町 大塚健治)
- 部長 中井隆洋
- 副部長 田中新之助
- 委員 大塚健治
- 委員 和田幸雄
- 委員 和田幸雄
- 委員 井上正勝
- (順不同)